

第4章 施策の展開

1 施策の全体体系

本計画では、計画の理念として掲げた「目指す姿」と4つの「計画の目標」の下、それらの実現に向けて取り組んでいきます。

そのために実施する主な施策を6つの「基本方向」に分け、全部で26の取組を実施します。また、そのうち11の取組については、重点的取組として特に力を入れて推進していきます。

目指す姿

学校・家庭・地域の強い絆のもとで、よりよい未来を創造する高い志を持った、心身ともに健やかな子どもが育っています。
そして、人々が生きがいを持って、生涯にわたり、多様に学び、交流する中で、潤いのある文化を守り育む地域社会が形成されています。

計画の目標

目標1

夢と志を持ち、その実現に向けて自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育む。

目標2

次代を支える社会の一員として、歴史が培ってきた文化や規範を尊重し、思いやりの心に富んだ人間を育む。

目標3

学校・家庭・地域の教育力の充実と連携の強化を図り、宮城の豊かな教育資源を生かしながら、社会全体で子どもを守り育てる環境をつくる。

目標4

生涯にわたり学び、互いに高め合い、充実した人生を送ることができる地域社会をつくる。

施策の基本方向

基本方向1

学ぶ力と自立する力の育成

基本方向2

豊かな人間性や社会性、健やかな体の育成

基本方向3

障害のある子どもへのきめ細かな教育の推進

基本方向4

信頼され魅力ある教育環境づくり

基本方向5

家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくり

基本方向6

生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進

実施する施策

基本方向1

- 1 小・中・高等学校を通じた「志教育」の推進
（重点的取組1）
- 2 基礎的な学力の定着と活用する力の伸長
（重点的取組2）

3 幼児教育の充実

- 4 伝統・文化の尊重と国際理解を育む教育の推進
- 5 時代の要請に応えた教育の推進

基本方向2

- 1 感性豊かでたくましい心を持つ子どもの育成と支援
（重点的取組3）
- 2 健康な体づくりと体力・運動能力の向上
（重点的取組4）

- 3 災害に積極的に向き合う知識と能力の育成
- 4 食に関心を持ち、元気な子どもの育成
- 5 心身の健康を保つ学校保健の充実

基本方向3

- 1 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
（重点的取組5）
- 2 障害のある子どもの自立と社会参加の支援

基本方向4

- 1 教員が学び続けるための体系的な研修の推進
（重点的取組6）
- 2 開かれた学校づくりの推進
（重点的取組7）

- 3 優れた人材の確保と能力を発揮できる教職員人事システムの確立
- 4 教職員を支える環境づくりの推進
- 5 県立高校の改革の推進
- 6 学習環境の整備充実
- 7 私学教育の振興

基本方向5

- 1 親の「学び」と「子育て」を支える環境づくり
（重点的取組8）
- 2 地域と学校との協働による学校支援の仕組みづくり
（重点的取組9）
- 3 子どもたちの体験活動の推進

基本方向6

- 1 地域をつくる生涯学習・文化芸術の推進
（重点的取組10）
- 2 文化財の保護と活用
- 3 生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実
（重点的取組11）
- 4 競技スポーツ選手の強化に向けた環境の充実

本県教育の課題

学力について：

全国学力・学習状況調査の結果、全国と比べやや低い状況。市町村教育委員会と連携を図り、教員の教科指導力、学習習慣の形成、教育環境基盤の充実等が必要。

高等学校卒業生の進路について：

現役大学進学達成率は全国平均よりも低い。また、新規高卒者の早期離職率が全国平均よりも高く、今後、生徒が主体的に進路を選択する力や、勤労観・職業観の醸成が求められる。

道徳・規範意識等について：

人間関係の希薄化や自然体験の不足が指摘される中で、豊かな人間性を育む教育が必要。

いじめ・不登校等について：

いじめについては、1,000人当たりの認知件数が全国平均を上回り、不登校は中学生で増加が見られる。学校、家庭、地域と関係機関が連携したきめ細かな支援などの対応が必要。

体力・運動能力について：

体格面では全国平均を上回っているが、体力・運動能力については全国平均を下回っている種目も多く、運動・スポーツに親しむ環境づくりが必要。

特別支援教育について：

特別支援学校の児童生徒数の増加に対応した教育環境の整備が課題。また、特別支援教育制度への移行に対応してLD、ADHD等を含むきめ細かな指導等が必要。

教員について：

教員は学校教育において、最も重要な役割を担うものであり、採用、研修、人事異動等の各段階を通じた資質向上が求められる。多忙化への対応も課題。

学校運営について：

地域全体で児童生徒の成長を支えるためには、地域から信頼される学校づくりを進めることが必要。

家庭の教育環境について：

都市化、少子化等により家庭環境が大きく変化しており、子育てや親になる学びを地域で支える仕組みが必要。

地域の教育環境について：

地域社会のつながりの希薄化が指摘され、地域社会を構成する各関係者が子どもを育む仕組みを構築していくことが求められる。

安全・安心の確保について：

学校に不審者が侵入する事件の他都道府県での発生や携帯電話等が介在する犯罪の増加などを受け、関係機関等が一体となった対応が必要。

生涯学習・文化芸術について：

県民が、生涯にわたり、生きがいのある生活を送ることができるよう、県民のニーズに対応した学習環境づくりが求められる。

スポーツについて：

県民が充実したスポーツライフを送ることができるように、身近にスポーツを楽しむ環境の整備が求められる。